

支援対象団体	事業名	心和学園
	事業名（副）	多様な学びを支える体制強化と事業基盤の安定化
	団体名	特定非営利活動法人風のアオライ

I.団体の社会的役割

(1)団体の目的

NPO法人風のアオライは、乳幼児期からの「安心」を土台に、多様な学びの場を地域にひらく団体です。自然体験や対話を通して、子どもの主体性と自己肯定感を育みます。課題が顕在化してから支援するのではなく、孤立を未然に防ぐ予防的関わりを大切に、子ども・保護者・地域をつなぐ伴走型の支援を目指しています。

(2)団体の概要・活動・業務

乳幼児と保護者、妊婦を対象とした自然体験・アートプログラム、幼児～小学生と保護者向けの体験活動、小中学生を対象としたオルタナティブスクールを運営しています。乳幼児期から思春期までを見通し、体験活動を軸に切れ目のない親子支援と多様な学びの機会を提供しています。

IV.事業設計

(1)中長期アウトカム

他人軸から自分軸、共存的な在り方へという段階が社会に認知され、子どもや親、地域の人々がその移行を試みられるよう、教育と育ちの場を通して貢献している

(2)短期アウトカム	100字	指標	100字	初期値/初期状態	100字
1. 「三段階の在り方」に基づく教育モデルが確立され、心和学園の安定と次なる幼児教育（認可外保育園）展開への基盤が整っている		①心和学園の在籍児童数が10名に達し、運営が黒字化している ②認可外保育園のコンセプト・物件・資金計画が確定し、自治体への設置届出の準備が完了している ③トコテク等から保育園・学園へ進む「継続利用意向」を持つ親子が5世帯以上確保できている		①心和学園 在籍3名（赤字経営） ②保育園開設準備：未着手 ③幼児期からの教育一貫ビジョンの言語化：3割	
2. 特例認定NPO法人として、高い信頼性と透明性のある組織運営がなされ、地域社会から社会的な信用を得ている		・所轄庁（自治体）へ特例認定NPO法人の申請を行い、正式に受理・認定されている		・未着手	
3. ミッションに共感する人材の確保と育成の仕組みが構築され、多様なボランティアが主体的に活動に参画している		①「ボランティア受入れ規程・マニュアル」が整備され、それに基づいた事前のビジョン共有（オリエンテーション）が100%実施されている ②月1回以上継続的に関わるアクティブ・ボランティアが3名以上定着している ③ボランティアから将来のスタッフや事業継承へと至る「成長ステップ」が設計・共有され、実際にステップアップを希望する人材が現れて		①規定なし、ビジョン共有は実施している ②2人（不定期） ③未着手	

4. 「三段階の在り方」への共感に基づく事業収益・寄付・助成金等の多様な財源が確保され、安定的かつ持続的な運営基盤が構築されている		①事業売上1,000万円、助成金100万円を達成し安定した活動資金を確保している ②固定の寄付金収入150万円を達成し、寄付者数が個人100名、法人3社に到達している ③特例認定NPOの要件であるパブリック・サポート・テストをクリアできる広範な寄付基盤が確立されている	事業売上・寄付金：目標に対し 発展途上 助成金獲得実績：なし 寄付者数：個人9名、法人0社		
(3)-3 アウトプット ※支援対象団体入力項目	100字	指標	100字	初期値/初期状態	100字
1-1. 自然体験プログラムが「三段階の在り方」を体現する形で安定運用されている		・参加者アンケートにおいて「三段階の在り方（他人軸・自分軸・共存）」への理解と共感が6割を超えている		・未着手☒	
1-2. 乳幼児期からの関わりを通じて教育観を共有し、学園への入学までの「一貫した導線」が確立されている		・教育観を言語化したロードマップ（HP・リーフレット）が完成・公開され、体験入学から入学決定に至る割合が5割を超えている		・言語化5割	
1-3. 2029年度の保育園（年少～年長）開設に向けた、認可外保育施設としての要件整理と準備が開始されている		・自治体への設置届出に必要な要件をまとめた資料が完成し、物件候補の選定や保護者ニーズの把握に取り組んでいる		・未着手	
2-1. 特例認定NPO法人の申請が完了し、受理されている		・所轄庁への特例認定NPO法人申請書類一式が作成され、不備なく受理されている		・未着手☒	
2-2. 組織運営の諸規程が整備され、ルールに基づいた適正な運用がなされている		・コンプライアンスや内部統制に関する全ての内部規定が再整備され、規定に基づいた理事会・監事監査が実施されている		・未着手	
2-3. 情報公開の仕組みが定着している		・HPを通じて、事業報告書や決算書類が法令および定款の定めに従って適切に開示されている		・着手済み	
3-1. 多様な背景（社会人・学生・受益者）を持つ人材の受入れ枠組みが整備されている		・ボランティア等の受入れ規程や役割設計が完了し、多様な人材が安心して関われる体制が整っている		・未着手	
3-2. 「三段階の在り方」を共有し、個々の強みや関心を活かせる育成の土台ができている		・活動現場での対話やOJTを通じてビジョン共有がなされ、個々の専門性に基づいた役割分担が行われている		・ビジョン共有3割	
3-3. 外部機関（大学等）との連携や直接スカウトにより、申し込みの導線が確立されている		・HPの申し込みフォームが稼働し、外部機関への訪問やスカウトを通じて安定的にボランティアの応募がある		・HP準備中	
3-4. アンケート等で意見を吸い上げ、活動環境を継続的に改善する仕組みができている		・定期的なアンケートが実施され、集まった現場の声が具体的な活動環境の改善に反映されている		・未着手☒	

4-1. 自主事業による収益が計画通り発生している	・イベント等の実施により、年度計画に対する事業収益の達成率が9割を超えている	・イベント企画、告知準備済み ・2026年度新一年生入学予定
4-2. 寄付金収入が増加し、継続的な支援者が拡大している	・マンスリーサポーター制度の導入やクラウドファンディングを通じて、新規の個人・法人寄付者が着実に増加している	・コングラント申請済みで公開準備中 ・クラウドファンディング未着手
4-3. 助成金を獲得している	・自団体の活動に適した公募案件への申請が年間スケジュールに沿って行われ、助成金が採択されている	・未着手

(3)活動	
1-1-1. 「トコテク」「自然アート教室」「風のたんけん隊」「サマースクール」を計画的に実施し、活動記録を蓄積する	68/200字
1-1-2. 心和学園の日常と各プログラムにおいて、「三段階の在り方」がどう実践されているかを言語化し、広報に活かす	68/200字
1-1-3. 「大人の学校」プレ講座の開催と、共に学び合う保護者・教育者コミュニティの形成	53/200字
1-2-1. 日々の活動やイベントを通じ、アオライの教育の価値を体験的に伝え、ファン（共感者）を増やす	62/200字
1-2-2. 風のアオライで育つ「乳幼児～小学生～大人」の一貫したビジョン（育ちのロードマップ）をHPやリーフレットで可視化する	75/200字
1-3-1. 2029年度開設に向けた物件選定、基準確認、および保護者ニーズの精緻な把握（アンケート等）	61/200字
1-3-2. 保育園から心和学園へ進む「一貫教育」の魅力を言語化し、中長期のビジョンとして発信する	59/200字
2-1-1. 特例認定に向けた申請書類の作成および提出	31/200字
2-1-2. パブリック・サポート・テスト適合のための寄付者名簿の整理・管理	41/200字
2-2-1. コンプライアンス・内部統制に関する規定（定款・諸規程）の再整備	43/200字
2-2-2. 理事会・監事等による組織運営のチェック体制の強化	35/200字
2-3-1. ホームページやSNS等を通じた事業報告書・決算書類の適切な開示	43/200字
3-1-1. 学生や社会人、受益者（保護者・卒業生、利用者）が「月1回」から無理なく担える役割の設計	59/200字
3-1-2. ボランティアが安心して継続的に関わるための、基本的な受入れ規程・ルールの作成	52/200字
3-2-1. 既存の活動や集まりの中で、当団体のビジョンを共有し、参加者の関心を引き出す対話の実施	59/200字
3-2-2. 現場での伴走（OJT）を通じ、個々の専門性や関心に基づいた役割の提案と対話の実施	58/200字
3-3-1. HPやSNSにおける「ボランティア申し込み・問い合わせフォーム」の設置と導線の整備	55/200字
3-3-2. 大学ボランティアセンターへの訪問、および潜在的な候補者へのスカウト・面談の実施	52/200字
3-4-1. 定期的なアンケートの実施と、現場の声を反映した活動環境の改善	44/200字
3-4-2. ボランティアから将来のスタッフ、事業継承へと至る「成長ステップ」の設計と共有	52/200字
4-1-1. 「自分軸・共存的な在り方」をテーマとした体験型イベントの企画・開催	46/200字
4-1-2. ターゲット層に合わせたSNS・広報活動による集客プロセスの構築	44/200字
4-1-3. 「大人の学校」の開発およびプレ体験会の実施	33/200字
4-2-1. マンスリーサポーター制度の設計	23/200字
4-2-2. マンスリーサポーターへの加入を促す特設ページの作成	35/200字
4-2-3. 哲学と現場の様子を伝える年次報告書の制作・発送	35/200字
4-2-4. 地元企業や賛同法人への訪問・プレゼンテーションによる法人寄付の開拓	45/200字
4-2-5. 寄付者との絆を深める「学園招待（感謝のつどい）」やの開催	41/200字
4-2-6. クラウドファンディングの実施	22/200字
4-3-1. 助成金情報サイト等を通じた最適な公募案件のリサーチ	36/200字
4-3-2. 助成金応募の年間スケジュールの作成	26/200字
4-3-3. 助成金の申請書類の作成および提出	26/200字